

日本学術会議地球惑星科学委員会・IUGG 分科会

IAMAS 小委員会

(第 25 期・第 2 回) 議事録

1. 日時：2021 年 7 月 29 日（木）13:00–15:00
2. 会場：web を用いた遠隔会議
3. 出席者：中村尚[委員長]、浮田甚郎[幹事；議事録]、竹川暢之[幹事；議事録]、
三枝信子、江守正多、佐藤薫、高薮縁、塩谷雅人、松本淳、三好建正
各委員（計 10 名）

欠席者：中島映至 委員

4. 配布資料

IAMAS 小委員会（25 期第 2 回）資料

資料1. 第 25 期第 1 回議事要旨

資料2. IAMAS 執行部会議の概要

資料3. VACO-21 プログラム

資料4. 2023 年 IUGG 総会の案内

資料5. 2019 年 IUGG 総会におけるIAMAS 関連シンポジウム一覧

資料6. IAMAS Newsletter (2021年 3 月号)

5. 議事

(1) 第 25 期第 1 回会合の議事録を確認した。

(2) 最新の国内外情勢に関する情報交換

i) 中村委員長から 2021 年 7 月に開催された IAMAS 執行部会議の概要が報告された (資料 2)。

ii) 中村委員長から、Covid-19 の影響で中止となった釜山での IAMAS-IACS- IAPSO 合同総会 (BACO-21) の代替としてオンラインセミナーシリーズ (VACO-21、2021 年 7 月 19–23 日) が開催されたこと、次回の IAMAS 総会は IAPSO・IACS との合同総会として 2025 年に釜山で開催予定であることが報告された (資料 3)。

iii) 中村委員長から次回 IUGG 総会 (2023 年 7 月 11-15 日、ベルリン) の紹介があった。2021 年 9 月 15-16 日開催の IUGG 執行部会議で各 commission から提案されたシンポジウムについて議論されることが報告された。参考として IUGG 2019 (モントリオール) のシンポジウム一覧が紹介された (資料 4、5)。

iv) 中村委員長から IAMAS ニュースレターの紹介があった (資料 6)。

(3) その他

その後は日本気象学会学術委員会と合同で、データ利用、航空機観測、地球衛星観測、放射能汚染に関してそれぞれ情報交換および討議を行った。

気象学研究に関わる学術データのアーカイブ・提供体制について情報交換を行った。日本学術会議による第 25 期大型研究計画マスタープラン (2023) への提案に向けて 2021 年 6 月に実施された地球惑星関連のヒアリングの資料および評価コメントについて、またサーバーの準備・管理・運営、費用負担などに関する技術的課題、既存の枠組みと差別化できるような地球科学的な特色の必要性について意見交換を行った。

日本学術会議マスタープラン 2020 の重点大型研究計画の 1 つとして選定された「航空機観測による気候・地球システム科学研究の推進」の現在の検討状況に関して、2021 年 6 月に実施された地球惑星関連のヒアリングの資料と評価コメント、飛行時間等に関する具体的な計画立案、ブレイクスルーとなる研究の必要性について意見交換を行った。

高藪委員を中心に、地球観測衛星の将来構想について日本学術会議「意思の表出等」で用いられた資料について説明があり、第 24 期地球惑星科学委員会地球・惑星圏分科会により承認された「持続可能な人間社会の基盤としての我が国の地球衛星観測の在り方」のフォローアップを第 25 期中にまとめる方針であることが報告された。また、災害対策・国土強靱化・地球環境問題解決など地球観測衛星の意義を明確にすることの重要性、および「将来の静止衛星観測に関する検討会 (MInT)」の活動について情報交換を行った。

日本気象学会の中に設置された放射能汚染部会の活動、福島原発事故の拡散シミュレーションに関する日本原子力学会誌への寄稿や気象研究ノートの執筆状況、および廃炉等に関するシンポジウムの開催状況について確認した。